

操作条件

検出器：紫外吸光度計（測定波長：289 nm）

カラム：内径 4 ～ 6 mm，長さ 15 ～ 25 cm のステンレス管に 5 ～ 10 μm の液体クロマトグラフ用オクタデシルシリル化シリカゲルを充てんする。

カラム温度：20 °C 付近の一定温度

移動相：水/アセトニトリル/酢酸（100）混液（50：50：1）

流量：マグノロールの保持時間が約 14 分になるように調整する。

カラムの選定：成分含量測定用マグノロール及びホノキオール 1 mg ずつを薄めたメタノール（7 → 10）に溶かして 10 mL とする。この液 10 μL につき，上記の条件で操作するとき，ホノキオール，マグノロールの順に溶出し，その分離度が 5 以上のものを用いる。

試験の再現性：上記の条件で標準溶液につき，試験を 5 回繰り返すとき，マグノロールのピーク面積の相対標準偏差は 1.5 % 以下である。

貯法 容器 気密容器。

ゴオウ

Oriental Bezoar

BEZOAR BOVIS

牛黄

本品はウシ *Bos taurus* Linné var. *domesticus* Gmelin (*Bovidae*) の胆のう中に生じた結石である。

性状 本品は球形又は塊状を呈し，径 1 ～ 4 cm，外面は黄褐色～赤褐色で，質は軽くもろく砕きやすく，破砕面には黄褐色～赤褐色の輪層紋があり，また，しばしば輪層中に白色の粒状物又は薄層を混じえる。

本品は弱においがあり，味は初めわずかに苦く，後にやや甘い。

確認試験

(1) 本品の粉末 0.1 g に石油エーテル 10 mL を加えて 30 分間振り混ぜた後，ろ過し，残留物を石油エーテル 10 mL で洗う。残留物 0.01 g をとり，無水酢酸 3 mL を加えて 1 ～ 2 分間振り混ぜた後，無水酢酸 0.5 mL に硫酸 2 滴を加えた混液を加えて振り混ぜるとき，液は黄赤色～濃赤色を呈し，後に暗赤紫色を経て暗赤褐色に変わる。

(2) 本品 0.01 g に塩酸 1 mL 及びクロロホルム 10 mL を加えてよく振り混ぜ，クロロホルム層が黄褐色になったとき，これを分取し，水酸化バリウム試液 5 mL を加えて振り混ぜるとき，黄褐色の沈殿を生じる。

純度試験

(1) 合成色素 本品の粉末 2 mg に希塩酸 1 mL を加えるとき，液は紫色を呈しない。

(2) でんぷん 本品の粉末 5 mg に水 2 mL を加え，水浴上で 5 分間加熱する。冷後，これにヨウ素試液 2 ～ 3 滴を加えるとき，液は青紫色を呈しない。

(3) ショ糖 本品の粉末 0.02 g に水 10 mL を加え，15 分間振り混ぜ，ろ過する。ろ液 1 mL にアントロン試液 2 mL を加え，振り混ぜるとき，液は濃い青緑色～暗緑色を呈

しない。

灰分 10.0 % 以下。

成分含量 本品の粉末約 0.5 g を精密に量り，石油エーテル 50 mL を加え，還流冷却器を付けて水浴上で 2 時間加温した後，ろ過する。残留物はろ紙と共に前のフラスコに入れ，塩酸 2 mL 及びクロロホルム 40 mL を加え，還流冷却器を付けて水浴上で 1 時間加温した後，質量既知のフラスコにろ過する。ろ紙は少量のクロロホルムを用いて洗い，洗液及びろ液を合わせ，クロロホルムを留去する。残留物をデシケーター（シリカゲル）で 24 時間乾燥した後，その質量を量るとき，その量は 12.0 % 以上である。

ゴシツ

Achyranthes Root

ACHYRANTHIS RADIX

牛膝

本品はヒナタイノコズチ *Achyranthes fauriei* Leveillé et Vaniot 又は *Achyranthes bidentata* Blume (*Amaranthaceae*) の根である。

性状 本品は主根又は側根を伴う主根からなり，根頭はわずかに根茎を付けるか，又は根茎部は切除されている。主根は細長い円柱形でときにやや湾曲し，長さ 15 ～ 90 cm，径 0.3 ～ 0.7 cm，外面は灰黄色～黄褐色で，多数の縦じわ及びまばらに側根の跡がある。折面は平らで，周辺部は灰白色～淡褐色を呈し，中心部に黄白色の木部を認める。質は堅くてもろいか，又はやや柔軟である。

本品はわずかににおいがあり，味はわずかに甘く，粘性性である。

本品の横切片を鏡検するとき，皮部はやや明らかな形成層によって木部と区別できる。木部の中心には小さい原生木部があり，これを囲んで多数の維管束が同心円状に配列する。柔細胞中にはシュウ酸カルシウムの砂晶を含み，でんぷん粒は認めない。

確認試験 本品の粉末 0.5 g に水 10 mL を加え，激しく振り混ぜるとき，持続性の微細な泡を生じる。

純度試験

(1) 茎 本品は茎 5.0 % 以上を含まない。

(2) 異物 本品は茎以外の異物 1.0 % 以上を含まない。

乾燥減量 17.0 % 以下（6 時間）。

灰分 10.0 % 以下。

酸不溶性灰分 1.5 % 以下。

ゴシユユ

Evodia Fruit

EVODIAE FRUCTUS

吳茱萸

本品はゴシユユ *Evodia rutaecarpa* Benthham 又は *Evodia officinalis* Dode (*Rutaceae*) の果実である。

性状 本品は偏球形又は球形を呈し，径 2 ～ 5 mm である。外面は暗褐色～灰褐色で，油室による多数のくぼんだ小点がある。しばしば果柄を付け，果柄は長さ 2 ～ 5 mm で，毛を密生する。果皮は成熟したものでは五室に開裂し，

各室中には倒卵球形又は球形の褐色～黒褐色又は帯青黒色のつやのある種子がある。

本品は特異なおいがあり、味は辛く、後に残留性の苦味がある。

確認試験 本品の粉末 1.0 g にメタノール 20 mL を加え、水浴上で 5 分間加熱し、冷後、ろ過する。ろ液を蒸発乾固し、残留物に希酢酸 3 mL を加え、水浴上で 2 分間加熱し、冷後、ろ過する。ろ液を試料溶液とし、次の試験を行う。

(1) 試料溶液 1 滴をろ紙上に滴下し、風乾した後、噴霧用ドラーゲンドルフ試液を噴霧して放置するとき、黄赤色を呈する。

(2) 試料溶液 0.2 mL に希酢酸 0.8 mL を加えた液に 4-ジメチルアミノベンズアルデヒド試液 2 mL を穏やかに加え、水浴中で加温するとき、境界面に紫褐色の輪帯を生じる。

純度試験

(1) 果柄 本品は果柄 5.0 % 以上を含まない。

(2) 異物 本品は果柄以外の異物 1.0 % 以上を含まない。

灰分 8.0 % 以下。

ゴマ油

Sesame Oil

OLEUM SESAMI

本品はゴマ *Sesamum indicum* Linné (*Pedaliaceae*) の種子から得た脂肪油である。

性状 本品は微黄色澄明の油で、においはないか又はわずかに特異なおいがあり、味は緩和である。

本品はジエチルエーテル又は石油エーテルと混和する。

本品はエタノール (95) に溶けにくい。

本品は 0 ~ -5 °C で凝固する。

脂肪酸の凝固点: 20 ~ 25 °C

確認試験 本品 1 mL に白糖 0.1 g 及び塩酸 10 mL を加え、30 秒間振り混ぜるとき、酸層は淡赤色となり、放置するとき、赤色に変わる。

比重 d_{20}^{20} : 0.914 ~ 0.921

酸価 0.2 以下。

けん化価 187 ~ 194

不けん化物 2.0 % 以下。

ヨウ素価 103 ~ 118

貯法 容器 気密容器。

ゴミシ

Schisandra Fruit

SCHISANDRAE FRUCTUS

五味子

本品はチョウセンゴミシ *Schisandra chinensis* Baillon (*Schisandraceae*) の果実である。

性状 本品は不規則な球形～偏球形を呈し、径約 6 mm である。外面は暗赤色～黒褐色でしわがあり、また、ときに白い粉を付ける。種子はじん臓形を呈し、外面は黄褐色～暗赤褐色で、つやがあり、背面に明らかな縫線を認める。外種皮

はたやすくはがれるが、内種皮は胚乳に密着する。

本品は弱いにおい及び酸味があり、後に渋くて苦い。

確認試験 本品の粉末 1.0 g にメタノール 10 mL を加え、水浴上で 3 分間振り混ぜながら加温し、冷後、ろ過し、ろ液を試料溶液とする。別に薄層クロマトグラフ用シザンドリン 1 mg をメタノール 1 mL に溶かし、標準溶液とする。これらの液につき、薄層クロマトグラフ法により試験を行う。試料溶液及び標準溶液 5 μ L ずつを薄層クロマトグラフ用シリカゲル (蛍光剤入り) を用いて調製した薄層板にスポットする。次に酢酸エチル/ヘキサン/酢酸 (100) 混液 (10 : 10 : 1) を展開溶媒として約 10 cm 展開した後、薄層板を風乾する。これに紫外線 (主波長 254 nm) を照射するとき、試料溶液から得た数個のスポットのうち 1 個のスポットは、標準溶液から得た青紫色のスポットと色調及び R_f 値が等しい。

純度試験 異物 本品は果たぐ、果柄及びその他の異物 1.0 % 以上を含まない。

灰分 5.0 % 以下。

コムギデンプン

Wheat Starch

AMYLUM TRITICI

小麦澱粉

本品はコムギ *Triticum aestivum* Linné (*Gramineae*) の種子から得たでんぷんである。

性状 本品は白色の塊又は粉末で、におい及び味はない。

本品を鏡検するとき、球形又はレンズ形で大小不同、長径 5 ~ 60 μ m、多くは 25 ~ 35 μ m の分粒からなり、へそ及び層紋は明らかでない。

本品は水又はエタノール (95) にほとんど溶けない。

確認試験

(1) 本品 1 g に水 50 mL を加えて煮沸し、放冷するとき、混濁した中性のり状の液となる。

(2) 本品はヨウ素試液を加えるとき、暗青紫色を呈する。

純度試験 異物 本品を鏡検するとき、他のでんぷん粒を認めない。また、原植物の組織の破片を含むことがあっても、極めてわずかである。

乾燥減量 15.0 % 以下 (6 時間)。

灰分 1.0 % 以下。

コメデンプン

Rice Starch

AMYLUM ORYZAE

米澱粉

本品はイネ *Oryza sativa* Linné (*Gramineae*) の種子から得たでんぷんである。

性状 本品は白色の塊又は粉末で、におい及び味はない。

本品を鏡検するとき、多角形で長径 3 ~ 10 μ m、多くは 4 ~ 6 μ m の分粒からなり、しばしば径 50 ~ 100 μ m に及ぶだ円形の複粒を認める。へそ及び層紋は認められない。

本品は水又はエタノール (95) にほとんど溶けない。